

(別紙2-3)

事業所名:社会福祉法人 白寿会 グループホームかぶとむし

作成日:平成27年10月 4日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災時だけではなく地震、水害なども想定した勉強会ならびに訓練、具体的対応策がまだまだである。さらには備蓄品の不備がある	・地震、水害等における「その時どうするか?」を職員全員で話し合い知識を深めたい。また、原子力災害におけるマニュアル等も作成しているのでこの件も含め皆で共通理解を図りたい ・備蓄品を揃え難事を乗り越えご利用者の安全が確保できる	・10月の夜間想定防災訓練実施後に勉強会を実施する。また、備蓄品についても「何が必要か?」を職員より更に意見を賜り徐々に物品を揃えていく	6ヶ月
2	40	ご利用者と共に食事する機会がなくニーズを(生の声)引き出す努力がまだ不十分である	・ご利用者との食事の機会を設けることで更に意思疎通が図れ繋がり強化ができる	・毎週日曜日、両ユニット共にa勤務、もしくはb勤務者が共に食事を行い、コミュニケーションを図る	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。